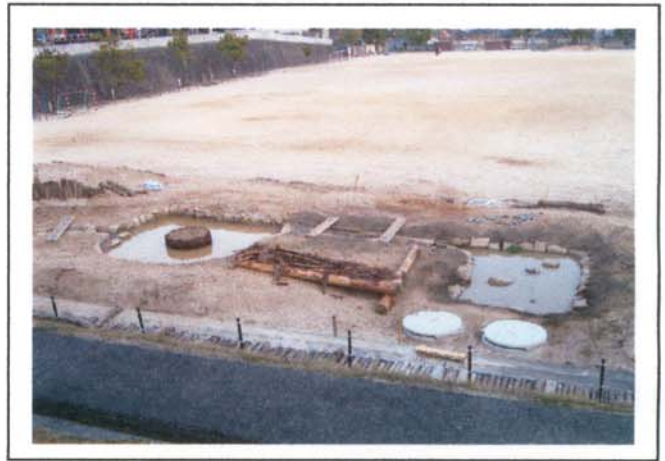


ビオトープだより 4号

砂山が大変身！ ドングリの森・かめの池・飛び石・ポンプの設置 etc

3年という時間をかけて、ドングリの森や水辺の整備が峠を越そうとしています。小学生だけでなく園児から大学生までが木を植えたり、切ったり、また土を運んだり泥だらけになりながらがんばってくれました。作業をした後、大人に混じって食べるご飯はいつもとは違った味がしたことでしょう。自分たちの力で変わっていく風景に心を寄せ、休みの日にすんで手伝う子どもたちも増えてきました。特別な場所ではない、日常の生活空間に溶け込んでいくビオトープ。子どもたちの心の中に、またひとつセピア色の思い出のページが増えていきます。

（浅原 弘之）



かめの池(左)と深い池(右)ができたところ(公縁側から撮影)



トラック数十台分の土砂が入りました



土砂の巨大な山はさすがに重機で造成



砂場も東側に移設しました

作業は続くよどこまでも！

- ☆ドングリの森及び池や湿地は大まかな作業が終わりました。これからは、植生、樹木、棲み処水辺などの手入れと活用が中心となります
- ☆実りのエリア整備として田んぼをつくります。ビオトープ小屋の建設も予定しています。
- ☆自然エネルギーを活用するため、太陽光発電設備を作ります。

**ビオトープの活動は各種団体からの助成金で
支えられています(平成15年度～17年度)**

- ・宮園コミュニティ協議会・
- いきいきした街づくり委員会
- ・モバイル・コミュニケーション・ファンド
- ・ひろしまこども夢財団



かめの池には中央には島をつくるぞ



池の底には防水シートを張りました



池は四角く掘り、土嚢のすき間に粘土質の土をつめていきます



作業のあとにはおいしいお昼ご飯も

楽しいよビオトープ



ビオトープの会では“育成部”を設けて、宮園小学校や宮園公民館とつながり年間を通して、子どもたちや先生そして地域の人と一緒に学習しています

3年生が総合的な学習で創作劇を発表！ 平成18年3月16日(木) 宮園公民館にて

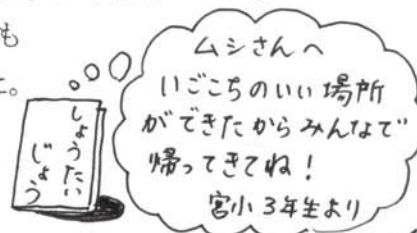
参加者89名(うち子ども40名)

ビオトープで学習した一年間のことを3年生(担任・根石郁子先生)が公民館のいきいき学級で発表しました!!一人ずつ好きな虫の衣装を作り、大型紙芝居も使って全身で発表しました。

創作劇の原作は数名の3年生女児が考えた手作り絵本です。「ビオトープは、ぼくたちのいっぱい笑顔がうまれる場所なんです。」子どもたちのいきいきとした姿に地域の方も笑顔いっぱい!ビオトープの会からも、子どもたちとの活動を発表しました。

また、4年生が一人一冊ずつ作った「いきもの一年間」も展示しました。

※この発表会は3月24日付の西広島タイムスに掲載されました



ビオトープ学習会

「ビオトープができるぞ〜」 宮園ビオトープにはどんな生き物がやってくるかな

参加者26名(うち子ども11名)

3月19日(日)宮園公民館で、原 竜也先生(広島県環境保健協会主事)をお招きして、ビオトープの学習会を開催しました。宮園ビオトープの目指すものはなんですか?この問いかけに、参加した大人も子どもも、配られた紙に思い思いの答えを書きました。「この意見を集約して、きちんと文章にしておくことがとても大切です。」と原先生は、ボードに貼って整理し※キーワードを探してくださいました。(写真)



また宮園ビオトープと周辺の風景をスライドにして、周りの環境との関係を分かりやすく説明してくださいました。山が近い宮園ビオトープは、環境を整えると色々な生き物がいっぱいやってきそうです。そんな生き物のお話をたくさん聞くことが出来ました。

最後に、外国産の生き物については外来生物法を守ることを、たとえ国内産であっても人の手で持ち込む生き物については最小限にしなければいけないと強調されました。

※キーワード:「宮園の自然」「生き物がやってくる」「命の大切さ」「人とのつながり」

◆◆◆ 4月の予定 (作業内容) ◆◆◆

- 4月1日(土) 9時~12時(通路整備、整地、石組み)
☆12時~お花見:ビオトープ脇の桜の木の下
- 8日(土) 9時~13時(通路整備、整地) 報告書作成
- 15日(土) 9時~13時(通路整備、整地)
- 22日(土) 9時~15時(植物採集、山菜取り)
- 23日(日) 9時~13時(採集植物の植え込み)

~作業ボランティアいつでも大歓迎~

春です!
季節を感じながら
ひと汗かくのって
楽しいですよ。



あなたの参加をお待ちしています!